

情報科学専門学校

平成 28 年度学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価会実施要領

日時	平成 29 年 9 月 19 日(火) 16 : 30 ~ 18 : 00	
場所	情報科学専門学校 8 階 806 教室	
参加者	学校関係者評価委員 外部委員	小川名 剛彦 (神奈川県情報サービス産業協会 常務理事 産学連携委員会委員長)
		長谷川 長一 (株式会社ラック プロフェッショナル・フェロー)
		松岡 秀和 (日経統合システム 事業開発本部 副本部長 兼 第一開発グループ部長)
		和田 裕子 (情報科学専門学校 保護者)
	学校関係者評価委員 内部委員	川上 隆 (教務部長)
		伊藤 泰宏 (業務リーダー 統括担当:学校運営)
		那須 宗夫 (業務リーダー 1 学年担当:課外活動・学生支援)
		山上 紀彦 (業務リーダー 2 学年担当:資格対策・就職指導)
		小倉 正己 (業務リーダー 3・4 学年担当:コンテスト・インターンシップ)
		増田 隆司 (業務リーダー 広報学生募集担当:学生募集・入試)
	濱口 和也 (記録係)	
資料	・平成 29 年度第 1 回学校関係者評価会 実施要領	

2. 自己点検評価結果報告および各項目に対する学校関係者評価

2-1. 教育理念・目標

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） ・学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズ調査しているか ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、目的、育成人材像、特色、将来構想等について入学時の新入生保護者ガイダンスにおいて説明をしているが、ガイダンス欠席者や在校生に対する周知・徹底が不十分である ・入学後の2週間の導入教育「基礎ゼミナール」の授業内で、上記について周知・徹底を図る ・保護者宛発送文書に上記ガイダンスの配布資料を同封する ・平成25年度より業界団体の有識者および学科ごとの専門分野に対応した外部企業の有識者からなる「教育課程編成委員会」を年2回定期開催。これにより業界の動向や企業のニーズに合わせて学科ごとの育成人材像を迅速に見直すことができる体制となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の取り組みについて特段の問題は無い

2-2. 学校運営

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか ・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・目的等に沿った事業計画が策定されているか ・事業計画に沿った運営方針が策定されているか ・人事、給与に関する制度は整備されているか ・教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動に関する情報公開が適切になされているか ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか ・教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか ・学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか ・利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・利害関係者（学生、保護者、地域社会、業界、高校教員等）からの苦情・要請への対応として、電話、メールによる問合せ窓口を設定しているが、標準的な対応手順書が整備されていない ・問合せ内容別の対応方法をまとめた対応手順書を作成 ・就職率、出席率、資格合格率、教員アンケートスコアなど教育に関する成果は極力数値化し、年度ごとに目標をたて、実績を振り返り、改善策を立案する PDCA サイクルが確立できている。 ・また、出席管理、成績管理、就職支援、学生支援等の各種学内システムを構築し、業務の効率化を進めるとともにデータを可視化することで教育の質向上にも役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神情協の SE 講座の委員会委員長をしている立場から見ていると、アンケートで生徒から評価される＝アンケートスコアが良い先生＝友達感覚の先生と感じる。学生目線の先生が良い先生であると思うが、例えば道徳を教える際に、先生が友達感覚の立場から伝えた方が伝わるのか、先生が教育理念に立った大人の教師の立場から伝えた方が伝わるのか考えている。良い先生のアンケートスコアが高くなるような仕組みがあると良いと思う。 ・やりたいことがあって入学しており、自主的に取り組んでいるのであれば、先生は厳しくても友達感覚でもどちらでもよいと思う。学生がやりたいと思っている期待に応えることができているか、入学してから学びたいと思っていることが、わかりやすく身につくように学べる先生かどうか分かるアンケート項目が必要だと思う。 ・データを貯めて分析することはトレンド。データをためて答えを出す、活用して行こうとする取り組みはとても良いと思う。ぜひ良い方向に発展させてほしい。

2-3. 教育活動

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・情報・IT分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ・学科等カリキュラムは体系的に編成されているか ・Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか ・情報・IT分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか ・シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか ・学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか ・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか ・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門分野に対応した教員を確保するように努めているが、教職員に必要なコンピテンシーを定義した職務記述書は未整備である。 ・人事考課は学校の年度目標を基に作成した個人目標の達成状況を踏まえて実施している。ただし、職務記述書との関連付けはなされていない。 ・今年度、まずは教職員に求められるコンピテンシーについて整理する。 ・当校の学習ガイド(シラバス)は「〇〇について学ぶ」ではなく「〇〇を確実に習得する」という形式で作成されている。そのため教員の役割は「授業を行うこと」ではなく「学生に理解させること」と定義されている。学生の理解が不十分な場合は補講を行うなどして確実に理解度を保証する仕組みとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容の前に、授業中に何を言っているか、声が小さく聞こえない教員がいるらしい。学生が聞こうとしているのに聞こえないのは気になる。 ・先生の属人的な情報源では安定的な情報が得られず、偏りが出してしまうのではないか、大きな企業（NTT など）に学生を連れて行くことや先生方に研修に参加するなどして連携も考えてはどうか。 ・神情協の技術委員会に参加してみてもどうか。

- ・教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか
- ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- ・教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか
- ・情報・IT分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか
- ・職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果の評価し、文書で記録しているか）
- ・情報・IT分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか

2-4. 学修成果

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか ・学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか ・成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか ・ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・在校生の活動については学内活動・課外活動を含めて学習支援システム(学内支援システム)に登録されており確実に把握できている。一方で、卒業生の活躍状況を定期的に把握する仕組みは構築されていない。 ・1984年以降の卒業生名簿を整備中。 ・卒業生同士の交流および学校と卒業生の関係強化を目的として、「卒業生交流会」を学園祭当日に開催予定。 ・今年度より、学生の就職先企業宛てに当校で学習したことが実務で活かされているかどうか本人および直属の上司に確認する「就職先アンケート」を実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社に就職してきた学生を見ていると、大学卒業生の方が目的意識は薄く、発言・行動ができないことが多い。入学直後にPROGを受け、きっちりと対策を行ってPROG実施後の学生の成長が楽しみである。

2-5. 学生支援

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・保護者と適切に連携しているか ・社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・卒業生への支援体制はあるか ・図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援、学習支援はもとより保護者との連携、担任による生活指導、学内カウンセラーの配置など在校生に対する支援体制は確立されているが、卒業生に対する支援体制がホームページによる情報提供にとどまっている ・今年度から開始する「卒業生交流会」を通して、卒業生同士の交流機会を増やすとともに、卒業生のニーズの把握に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者あて発送文書がなぜ郵便で届くのか不思議、IT化するべきだと思う。保護者への連絡も最先端であると良いと思う。

2-6. 教育環境

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。 ・教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか ・防災に対する体制は整備されているか ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設、備品(コンピュータ、周辺装置、図書等)は定期的に点検しているが、備品の管理台帳が存在しないため、備品の所在・点検状況を確認しにくい状況にある ・備品の管理台帳を作成する ・通常の避難訓練の他に、元神奈川県警捜査一課出身の専任職員による不審者、暴漢の侵入に備えた防犯訓練等も実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の取り組みについて特段の問題は無い

2-7. 学生の受入れ募集

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか） ・ 履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか ・ 学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか ・ 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか ・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・ 評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか ・ 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか ・ 教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか ・ 学納金は妥当なものとなっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価手段、基準等に関する詳しい説明は入学前に行っていない。 ・ 希望者には学生生活の手引きを見せるなどして説明を行うようにする。 ・ 職業実践専門課程認可を期に就職率、退学率等のデータも公表するなど透明性を高め、受験生にとって誤解なきよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学選考の中で、入学者の主体性・意思を見ているのは良い。

2-8. 教育の内部質保証システム

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか ・自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか ・監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか ・内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか ・内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか ・自己点検・評価結果を公開しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検評価は行っているが内部監査（学校法人内の他部門に在籍する ISO29990 内部監査員によるエビデンスのチェック、ヒアリング 等による監査）は組織的に行われていない。 ・役職者を対象に ISO29990 内部監査員および審査員補取得のための研修を実施。自己点検評価に基づいた内部監査を実施予定。また、監査結果報告書および監査結果を受けた是正報告書を作成。 ・H25 年度より自己点検評価および学校関係者評価を行っている。今後、内部監査および第三者評価も取り入れ、より客観的な視点での業務改善・教育の質改善に努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PROG テストは本人の他人に知られたくない部分が数値として出ている。業者による振り返りの説明会で同じ立場の学生同士で見せ合って評価しあっていたとのことだが、知り合いの学生同士で見せ合っ て意見を言い合うのは良いとは思えない。

2-9. 財務

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備はできているか ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状財務基盤は安定しており、継続的な学校運営に問題ない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の取り組みについて特段の問題は無い

2-10. 社会貢献・地域貢献

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の地域貢献は主に講座、コンテストの実施および学生のボランティア活動への参加である。地域社会に対する上記以外の方法での貢献形態が考えられるかどうか、ニーズの把握に努めたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の取り組みについて特段の問題は無い

2-11. 国際交流

学校が設定する評価項目	自己点検評価の概要	学校関係者からの評価
<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか ・学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学を希望する留学生については、日本人学生と同様の基準で受入を行っている。ただし、留学生を対象として、特別な支援体制は確立されていない ・留学生を受け入れることが教育の質向上にどのようにつながるかを見極めたうえで、留学生に対する支援策を検討したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の取り組みについて特段の問題は無い

以上